

アフリカで村落給水の拡充と安定化に取り組む JICA 研修員が富良野市の簡易水道を視察(7月11日) ～5か国5名の給水・水衛生行政従事者が富良野市上水道施設で研修～

「きれいな水と衛生へのアクセス」は2015年に採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17のグローバル目標の一つとして設定されており、全ての国・地域が2030年までに安全な飲料水への普遍的なアクセスを確保することを目指しています。

国際協力機構 北海道センター(JICA 北海道(札幌))が6月12日から7月28日の日程で実施中の2023年度課題別研修「アフリカ地域村落飲料水管理(A)」は、開発途上地域の中でも特に村落部の安全な飲料水へのアクセス率が低く水資源確保が深刻な課題となっているアフリカ地域を対象とし、村落部における適切な飲料水供給や給水施設の維持管理に必要な基本技術の確認を行いつつ、住民参加かつジェンダーに配慮した維持管理体制を確立するために必要な知識の拡充を目指す内容となっています。

本年度の研修(仏語圏対象)にはコートジボワール、ジブチ、ギニア、ニジェール、セネガルから、中央政府機関において村落給水および水衛生分野の行政に携わっている5名の研修員が北海道および本州での研修に参加しており、7月11日には以下の視察を予定しています。

・日時:2023年7月11日(火)

9:30-11:30 富良野市中五区水源送水場

13:30-16:00 富良野市学田地区簡易水道、他(調整中)

・場所

- ① 富良野市中五区水源送水場:富良野市中五区
- ② 富良野市学田地区簡易水道:富良野市学田

・研修内容(予定)

研修参加者の国々において大部分を占める小規模給水施設の日本における事例の視察を通じて、開発途上国で課題となっている適切で持続可能な施設維持管理方法、行政と住民の連携、水資源の維持と質の向上に繋がる政策、技術を学ぶ。



【本件に関する問い合わせ先】

JICA北海道(札幌) 研修業務課 菅原 清英

TEL:011-866-8393 e-mail : Sugawara.Kiyohide@jica.go.jp